

映画公開記念！

"柿と紅茶のドーナツ"を販売！



映画公開を記念して、富山県産の干し柿を使用した"柿と紅茶のドーナツ"を販売。薫り高い紅茶と、干し柿の優しい甘さが楽しめる秋らしいドーナツ。ぜひ映画鑑賞後のおやつにお召し上がりください！

実施店舗：はらドーナツ全店（一部店舗を除く）

10月1日（月）～11月30日（金）

<http://haradonuts.jp/index.html>

〈協力〉富山干柿出荷組合連合会



ロケハンから撮影立ち合いまで、 富山での映像制作を支援します！

富山県ロケーションオフィスは、映画やドラマなどのロケ候補地の情報提供から、ロケハンや撮影支援、さらに公開に合わせたPRなど、フルサービスを行っています。本作でも富山県内で大規模ロケを実施しました。



富山県ロケーションオフィス
TOYAMA LOCATION OFFICE

TEL: 076-444-6789 (富山県観光振興室内)

<http://www.location-toyama.jp/index.html>

本作の半券持参で、 靴修理が10%OFFに！



靴の状態やご要望に合わせた
修理加工のご提案をいたします。

※他の割引企画との併用はできません。
※バッグ修理・クリーニング・オールソール
修理・合鍵・傘修理など対象外のサービスが
ございます。

実施店舗リット！（一部対象外の店舗を除く）

10月19日（金）～11月30日（金）

<http://www.riat-rs.com/>



上映エリアの指定教習所にて 限定コラボポスターを掲出！

自動車が印象的に登場することから限定ポスターの掲出が実現！全国の指定教習所では、すでに自動車免許をお持ちの方を対象にしたブラッシュアップ講習を実施中。安全運転の強化や、定期的な運転診断にぜひ。



ブラッシュアップ講習の実施教習所は、
下記 URL をご覧ください。

<http://www.zensiren.or.jp/contents/brushup.html>



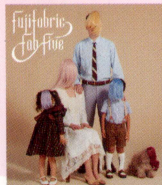
映画「ここは退屈迎えに来て」
～オリジナル・コンピレーション・アルバム～

フジファブリック、DATS、LUCKY TAPES
による挿入曲を収録したオリジナル・
コンピレーション・アルバム。

発売日：2018年10月3日（水）

全9曲収録

定価：¥1,389+税/VPCD-86213/発売元：パップ



FAB FIVE

フジファブリックによる新曲主題歌
「Water Lily Flower」を収録した
Mini Album。

発売日：2018年10月3日（水）

定価：通常盤（CD）¥1,800+税

初回生産限定盤（CD+DVD）¥2,500+税

発売元：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ

10.19 fri. Roadshow

2018年/日本/カラー/ビスタ/5.1ch/98分 ©2018「ここは退屈迎えに来て」製作委員会 taikutsu.jp taikutsu-movie taikutsu-movie

★印の劇場にて、ムビチケカード 1,400円（税込）好評発売中！
劇場窓口にてお買い求めの方に「オリジナルメモ帳」をプレゼント！

※公開日前日までの販売/特典は数量限定・非売品

【東京】★T・ジョイPRINCE品川 03-5421-1113	【東京】★T・ジョイSEIBU大泉 03-5933-0147	【神奈川】★横浜ブルク13 045-222-6222	【神奈川】109シネマズ川崎 0570-007-109
【愛知】★ミッドランドスクエアシネマ 052-527-8808	【大阪】★梅田ブルク7 06-4795-7602	【大阪】★なんばパークスシネマ 050-6864-7125	【京都】★T・ジョイ京都 075-692-2260
【兵庫】OSシネマズ神戸ハーバーランド 078-360-3788	【福岡】★T・ジョイ博多 092-413-5333	【北海道】★札幌シネマフロンティア 011-209-5400	

【宮城】★MOVIX仙台 050-6865-6205 / 【茨城】★MOVIXつくば 029-868-7200 ※9月下旬より順次営業予定 / 【栃木】★MOVIX宇都宮 050-6865-3235 / 【群馬】★MOVIX伊勢崎 050-6865-3212
【東京】★MOVIX昭島 050-6861-0325 / 【千葉】★T・ジョイ蘇我 043-209-3377 / 【埼玉】★MOVIX川口 050-6861-5410 / 【新潟】★T・ジョイ新潟万代 025-242-1840
【新潟】★T・ジョイ長岡 0258-21-3190 / 【愛知】★ミッドランドシネマ名古屋空港 0568-39-3911 / 【愛知】★ユナイテッド・シネマ豊橋18 0570-783-668
【富山】★TOHOシネマズファースト富山 050-6868-5009 / 【富山】★TOHOシネマズ高岡 050-6868-5020 / 【富山】★J MAX THEATERとやま 076-461-4461
【石川】★ユナイテッド・シネマ金沢 0570-783-071 / 【広島】★広島バルト11 082-561-0600 / 【福岡】★T・ジョイリバーウォーク北九州 093-573-1566
【熊本】★ユナイテッド・シネマ熊本 0570-783-087 / 【大分】★T・ジョイパークプレイス大分 097-528-7678 / 【鹿児島】★鹿児島ミッテ10 099-812-6662

順次公開 【青森】フォーラム八戸 / 【岩手】フォーラム盛岡 / 【山形】ソラリス・フォーラム山形 / 【福島】フォーラム福島 / 【福島】ポレボレシネマズいわき小名浜
【山梨】シアターセントラルBe館 / 【島根】★T・ジョイ出雲 / 【宮崎】宮崎キネマ館



青春の
後にある
ものは？

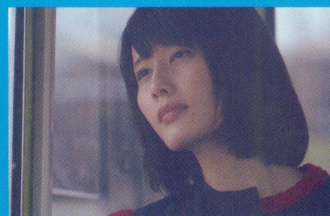
ここは退屈 迎えに来て

橋本 愛 門脇 麦 成田 凌
渡辺 大知 (脚本・監修) 岸井 ゆきの 内田 理央 柳 裕 菜 瀧内 公美 亀田 南 樹 片山 友希 木崎 絹子 マキス ポーツ / 村上 淳
原作：「ここは退屈迎えに来て」(原作：山内 マリコ/2016年文庫) 監督：廣木 隆一 脚本：櫻井 智也 音楽：フジファブリック
主題歌：フジファブリック「Water Lily Flower」(Sony Music Associated Records) 4018「ここは退屈迎えに来て」製作委員会 制作：松竹映画 配給：松竹映画 監製：松竹映画

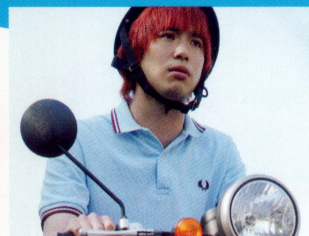
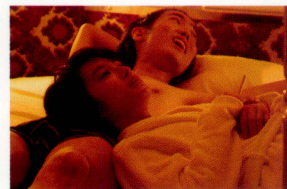
10.19 fri.
taikutsu-movie taikutsu-movie
taikutsu.jp

圧倒的共感と呼んだ傑作小説の映画化

詩的なタイトルが印象的な山内マリコの処女小説が遂に映画化。2004年の高校時代から2013年の現在まで、みんなの憧れの的だった「椎名くん」を柱にキャラクターを交差させながら描く、痛く切ない群像劇。『ナミヤ雑貨店の奇蹟』で感動の人間模様を描いた名手・廣木隆一がメガホンをとった。登場人物世代を代表するバンド・フジファブリックによる主題歌と、名曲『茜色の夕日』が意外な形で本編を彩っている。



Story



“こんなはずじゃなかった”日々、
ここではないどこかを求める人々の物語。

地方都市に生まれて、一生懸命ゴダールとか観てる自分ってなんなんだろうと煩悶し、不発だった青春を投影したのがこの小説です。刊行後、わたしと似た女の子が、実はたくさんいたんだと知りました。そしていま、生まれ育った富山の景色を背景に、橋本愛ちゃんや門脇麦さんが化身となって、スクリーンに現れようとしている。この映画が、日本中に偏在している、同じような境遇で生きる若い人たちに届くことを祈っています。

原作：山内マリコ

2013年——27歳の「私」(橋本愛)は、何者かになりたくて東京へ出たものの、10年が経ちなんとなく地元に戻ってきた。実家に住みながらフリーライターとしてタウン誌の仕事をしている「私」は、カメラマンの須賀(村上淳)と組むことが多い。取材終わりに、高校時代に仲が良かったサツキ(柳ゆり菜)と合流し、なぜか須賀の車で当時みんなの憧れの的だった椎名(成田凌)に会いに行くことに。道中で懐かしいゲームセンターを見つけて立ち寄ると、たまたま帰省中だという同級生の新保(渡辺大知)と再会する。

2008年——22歳の「あたし」(門脇麦)は書店でのアルバイトを終えて、駐車場で待っている同級生の遠藤(亀田侑樹)の車に乗り込む。「あたし」は高校時代に椎名と付き合っていたが、卒業後、椎名は大阪に引っ越して音信不通だ。「あたし」は椎名を忘れられないが、自分に好意を寄せる遠藤と何となく体の関係が続けている。

2010年——24歳の南(岸井ゆきの)とあかね(内田理央)はファミレスにいる。あかねは10代の頃にアイドルとして活動し中学を卒業すると東京に引っ越したが、仕事ができなくなり実家に戻ってきた。あかねは結婚を焦っているが、南は結婚に興味がない。

2004年——18歳の「私」は高校3年生。サツキは、地元も年齢も同じあかねが載っている雑誌を見て盛り上がっている。「あたし」は椎名と交際中だ。新保は同級生にからかわれているところを椎名に助けられる。同級生のなっちゃん(片山友希)は、禿げ上がった47歳の男・皆川(マキタスポーツ)と(援助)交際中。青春を謳歌する兄を醒めた眼で見ている椎名の妹・朝子(木崎絹子)は、家庭教師のまなみ先生(瀧内公美)の家で勉強を教えてもらっている。ある日の放課後、「私」とサツキは椎名から誘われて、奇跡のように楽しい放課後を過ごす。

2013年——須賀から高校時代のことをあれこれ聞かれ、ゲームセンターに足を踏み入れ、母校を訪れたことで、「私」の脳裏にある放課後が蘇る。記憶の中で輝き続ける椎名と再会した「私」は、ある衝撃的な言葉を告げられる。

“退屈”な日々が、愛おしい。

東京以外に帰る場所のない私には、
「退屈な故郷」とさまざまに向き合えることが
とても羨ましく思えた。
ジェーン・スー [コラムニスト]

『レディ・バード』のサクラメント。
『SR/サイタマノラッパー』のフクヤ。そしてこの映画にも、
あんなに憎んだのにこんなに愛おしい
「心の地元」の風景が広がっている。

森 直人 [映画評論家]

映画館とタワレコとヴィレヴァンだけが味方の地方で育ち、
いま下北で働く僕もこの映画の登場人物の1人と
思わずにられない！
長谷川 朗 [ヴィレヴァンガード下北沢店 書籍担当]

青春とは、究極の退屈だ。
だから、人はその埋め合わせに必死になる。
当時の僕も必死だった。
退屈が絶望に変わる前に、音楽に出会えて心からよかった。
DATS MONJOE [ミュージシャン]

SNSを覗けば自分以外のみんながリア充に見えてしまう。
心から満たされにくいこんな時代、
何も言わずに共感してくれる古い友人のような物語。
東 紗友美 [映画ソムリエ]

泣きたくなる。
私たちはこんなふうに、輝いていたあの日と、
退屈な現在の間でたえず揺れているから。
門間雄介 [編集者/ライター]

夜明けの街を大声で歌いながら歩きたくなる。
何かあるわけでもないくせになんとか不幸だと思ってた
昔の自分を思い出しながら。
マキヒロチ [漫画家]

無い物ねだりかな、この映画の一瞬一瞬は
東京育ちのわたしには味わえない瞬間だともって、
ただただ、なんかいいなあ。無い物ねだりだね。
でも、どこにでも、ここにだって、幸せがあって、退屈がある。
欲しがりだよなあわたしって。
チャラン・ポ・ランタン もも [ミュージシャン]

車を持っていないとどこにもいけない町で、
車を持っていないヒロインが夜明けの道路で絶叫するシーン。
門脇麦が美しいと思いました。
山崎まどか [コラムニスト]

何者かになりたくてもなれない自分、なることを諦めた自分、
理想や過去にしがみ付いて現実をなかなか受け入れられない自分…
誰もが経験するであろうあの特有の小さな世界で葛藤している様々な人間の
複雑な心境や儚さをシンプルかつ繊細に描いた傑作。
LUCKY TAPES 高橋 海 [ミュージシャン]

地元がない人、疎遠な人も、この映画の地方都市が
まるで脳内地元みたいに思えてきて、
ふとした時に登場人物が元氣かどうか気になります。
孤独な時、逆に迎えに来てくれそうな
地元の仲間たちの笑顔に癒されます。
辛酸なめ子 [漫画家・コラムニスト]

